

## 第3章

### 農業（酪農業）の職務分析の流れ

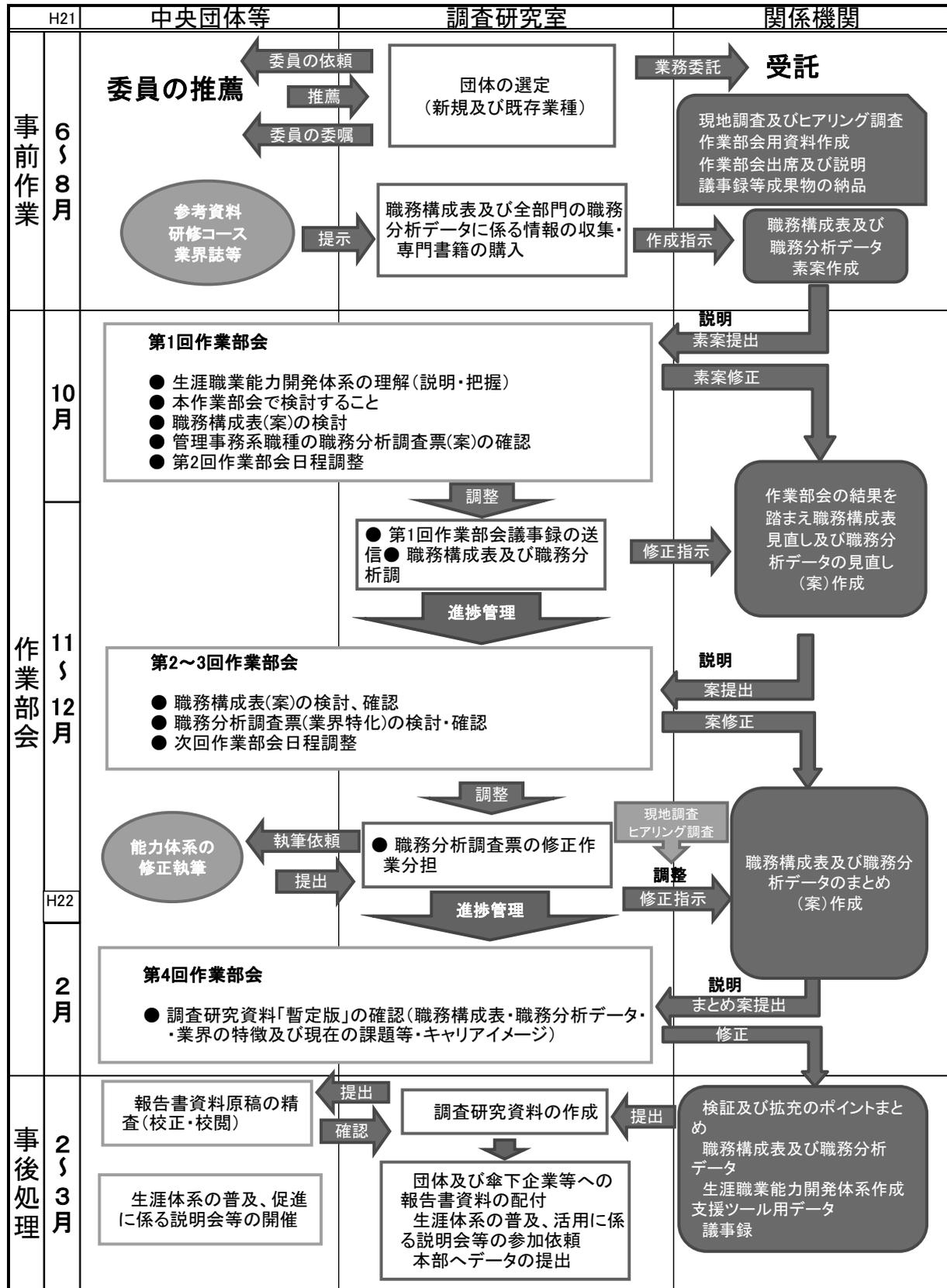


### 3-1 農業（酪農業）の職務分析に係る調査研究の流れ

作業部会は4回開催し、職務分析で不明な点や再確認を必要とする箇所等については現地調査を実施し確認作業を行った。（図表3-1参照）

また、「部門」→「職務」・「仕事」・「作業」→「作業をおこなうのに必要とされる知識、技能・技術」等生涯職業能力開発体系で扱われる用語の意味等については、第4章「生涯職業能力開発体系について」及び第5章「職業能力体系（モデルデータ）について」で詳細に扱うこととする。

図表 3-1 農業(酪農業)の職務分析に係る調査研究の流れ



### 3-2 農業（酪農業）の職務分析

職務分析を進めるにあたっては、全国農業会議所、（社）日本農業法人協会の協力の下、専門委員（技術や技能に加え、企業内全体を管理もしくは統括している人材）による作業部会を設置し、職務の構成を検討・整理するとともに、職務毎の詳細な職務分析データ（仕事や作業の構成と内容）について検討を重ねた。

職業能力体系（モデルデータ）を整備するにあたっては、近年の加工品まで扱う酪農法人等まで扱うには、職務が多岐になり、また産業分類上の区分においても整理に時間を要すると考え、「生乳生産・生乳販売」を中心に扱う酪農業及びそれに関連する職務分析に特化し、企業規模は農業法人で10名弱を対象にすることとした。

詳細な職務分析を進めるにあたっては、まず標準的な作業項目を一日単位・週単位・月単位で整理するとともに、生産資源の観点から大きく「牛舎」、「牛」、「餌」の3点について整理することとした。

これらの作業項目について各段階でどのような組織体制で業務を進めているかを「部門」→「職務」・「仕事」・「作業」→「作業をおこなうのに必要とされる知識、技能・技術」と細分化することで職業能力体系（モデルデータ）の整備を行った。職務分析にあたっての整理のポイントについては以下のとおりであり、その結果整理した職務構成表を図表3-2に示す。

【農業（酪農業）職務分析に係る整理のポイント】

部門等	作業部会における意見等
全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「加工販売」は、産業分類上も異なることから、「牛乳生産・生乳販売」を中心に扱うこととし、それに関連する職務分析に特化する。</li> <li>○ 企業規模は、10人程度とする。</li> <li>○ 職務を構成するにあたっては、「毎日おこなうもの」「週単位でおこなうもの」「月単位でおこなうもの」で考え、整理する。また、酪農業の職務を整理するにあたっては、酪農業の生産資源の観点から大きく「牛舎」、「牛」、「餌」の3つから整理する。</li> <li>○ 大きな「部門」の括りとして、管理事務系を「経営管理」とし、現場系を「生産管理」とする。</li> <li>○ 企業形態は、「農業法人」を意識するが、法人化は手段の一つなので「認定農業者」について意識し、経営を「企画」と「分析」に分け、「企画」に「法人化」や「認定農業者の認定」等、戦略的な内容を入れ、「分析」に「経営分析」や「予算分析」という項目を入れることとした。</li> <li>○ レベル4の内容は、作業の詳細な内容ではなく、大きな括りで考え、「～の判断ができる」等の形で整理を行う。</li> <li>○ 「牛乳」と言う表現ではなく、「生乳」とする。</li> </ul>

<p>管理 事務系</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 管理・事務系の整理については、ほとんどが「経営者」もしくは家内で何役も行っているため、「部門や職務」としてある程度まとめて簡略化する。</li> <li>○ 経営者等高レベルの作業者のコンプライアンス的側面(把握すべき法令、指針等)に留意して整理する。</li> <li>○ 「牛乳販売」を「職務」として標記する。</li> <li>○ 福利厚生関係の内容は「総務」で整理する。</li> <li>○ 個人情報管理や牛群管理は「システム運用管理」に入れる。</li> <li>○ 「農業共済管理」を総務人事の「仕事」に入れ、その中の作業として「共済台帳管理」を入れる。</li> <li>○ 「生乳販売」は、酪農業の経営の根幹事項であるため、「経営戦略」の「知識・技能」として扱う。</li> </ul>
<p>生産 管理系</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「堆肥処理」は、「肥料生産」、「肥料販売」、環境・衛生面からの糞尿処理に係る管理等があることから、独立したひとつの項目にする。</li> <li>○ 「購入」で多くを占める「飼料」では、「濃厚飼料」と「粗飼料(牧草とサイレージ)」に分け、併せて敷料等の消耗資材についても整理する。</li> <li>○ 販売する飼料は「粗飼料」として整理し、購入する飼料は、穀物からなる「濃厚飼料」で整理する。</li> <li>○ 飼料購入について、「エコフィード(食品残渣等)の購入」も整理する。</li> <li>○ 牛の販売品目は、販売(スモール牛、育成牛、経産牛、老廃牛)、購入(初妊牛)とする。</li> <li>○ 哺育管理については、牛の種類(哺育牛、育成牛、搾乳牛、乾乳牛)ごとに分けて整理する。</li> <li>○ 放牧については、パドック放牧と委託放牧に分けて整理する。</li> <li>○ 乳質検査については、外部機関への委託が基本であり、サンプル採取までを酪農家の仕事として整理する。また、生乳の品質管理については、ポジティブリスト制度に基づいた記帳・記録を明記する。</li> <li>○ 生乳の生産過程で発生する”有機肥料等の販売”については、「生産管理部門」での部分的業務として位置づけ、個々の販売品目については極力詳細に把握し記載する。</li> <li>○ 外部へ委託する作業としては、乳質検査の実施や飼料の調整等がある。</li> <li>○ 「死亡牛の処理」を、「衛生管理」の中で整理する。</li> <li>○ 「乳質検査の実施」の知識・技能としては、その目的や仕組み等を知識として知っている程度とする。</li> <li>○ 生乳の品質を整理・分析する上では、牛群検査情報が重要である。</li> <li>○ 「糞尿処理」は、「有機肥料生産・販売」と「尿処理」に分けて記載する。併せて、「洗浄・排水処理」も重要な項目である。</li> <li>○ 有機肥料の生産方法は様々であるため、良質な堆肥の生産方法を知っているかどうかは、重要なポイントとなる。</li> <li>○ 良質な敷料を購入するため、その品質を見極めること(菌がついていないか等)は重要な「仕事」である。</li> </ul>

図表 3-2 農業（酪農業）職務構成表

団体または企業名	部門		職務名
農業（酪農業）農業法人	経営管理		経営
			総務
			人事・労務管理
			財務予算管理
			購買
	生産管理	搾乳管理	生乳生産管理
		飼養管理	衛生管理
			飼育管理
			繁殖管理
			牛売買
		飼料管理	粗飼料生産管理
			飼料購入・販売管理
			混合飼料調製管理
		糞尿処理	有機肥料生産・販売
			尿処理
		洗浄排水処理	洗浄排水処理
		施設管理維持	施設管理
カウコンフォート			
電気・燃料・水			
安全管理	安全管理		

